

# インナー大会プレゼン部門2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）

フリガナ) タカサキケイザイダイガク

フリガナ) チイキセイサクガクブ

高崎経済大学

地域政策学部

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ) チームツボイエックス	フリガナ) ハヤセ リョウ	6	無
Team tsuboi X	早瀬 稜		

研究テーマ（発表タイトル）

近年の自転車マナーの悪さ ～技術の進歩による安全向上～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要（目的・狙いなど）

大学生の主な交通手段である自転車。しかし、昨今のメディアでも取り上げられているように自転車のマナーの悪さが問題視されています。そこで私たちのグループでは自転車に乗る人々がどうしてマナー違反や法律違反をしてしまうのかを調べ、それをどうすれば解決できるのかを考えました。

## 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

一昨年、道路交通法が改正され自転車のルールが強化されました。しかし、現状では、そのルールを完全に守れているかといえばそうではなく、多くの人々が違反しています。

## 3. 研究テーマの課題

自転車に乗っている人々が法律違反をしても再犯する可能性が非常に高かった。どうしたら再犯率を減らすことができるのかを考えるのが課題です。また多くの人々が違反であると学びながらも違反をしてしまっていました。その意識の低さをどのように改善していくかが課題です。

## 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちのグループでは再犯するのを防ぐには「怖い思いをすること」が大切だと思いました。そこでバーチャルリアリティを使った疑似体験を利用し恐怖体験をすることで再犯を防ぐことができるのではないだろうかと思いました。

## 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

高崎経済大学の学生を中心に100人にアンケートをとりました。アンケートの結果、多くの人々が違法だと知りながらも自転車に乗り違反をしていることがわかりました。また片手運転等、違反だと感じていないものも数多く見つかり今後、そのようなものをどの

ようにして広めていくのが課題です。

## 6. 結果や今後の取り組み

バーチャルリアティーを使って交通教育をしていく上でやはり課題となるのは、行政とどのようにして協力していくかであると思います。現状では、交通違反をしても紙に名前を書いて終了です。そこに私たちの考えたバーチャルリアティーをどのようにして絡めていくかを今後考えていきたいです。

## 7. 参考文献

**自転車の交通ルールの徹底方策の現状 警察庁交通局交通企画課**

<https://www.npa.go.jp/koutsuu/kikaku/bicycle/kondankai/siryo1-2.pdf>

**Web動画:カンヌ国際で史上最多28部門受賞！「Dumb Ways to Die (マヌケな死に方)」が5,400万回動画再生された秘密！**

<http://blog.members.co.jp/article/8749>

**Wikipedia Dumb Ways to Die**

[https://ja.m.wikipedia.org/wiki/Dumb\\_Ways\\_to\\_Die](https://ja.m.wikipedia.org/wiki/Dumb_Ways_to_Die)

**外国人「日本人の自転車マナーは危険すぎる！」道路交通法が強化された件について 海外の反応**

<http://tamenal.com/7782>

**LIFE VR(仮想現実)をお手軽価格で体験できる3Dゴーグルを買ってみたのでレビュー & VR動画とアプリを紹介**

<http://mpj-webmarketing.com/vr-3d-goggles-review>

**VRとは 特性 など**

<https://www.winxdvd.com/blog/easy-virtual-reality-overview.htm>

**技術vr器械**

<http://hacosco.com/insta360/>

**実際に警察は今犯行現場をVRで再現する研究がイギリスで始まる**

<http://entamevr.com/vr-recreate-crime-scene>

## インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1〜7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム

変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。